



Waseda University

「ウォークアブルなまちを評価する」



公益財団法人
国際交通安全学会
International Association
of Traffic and Safety Sciences

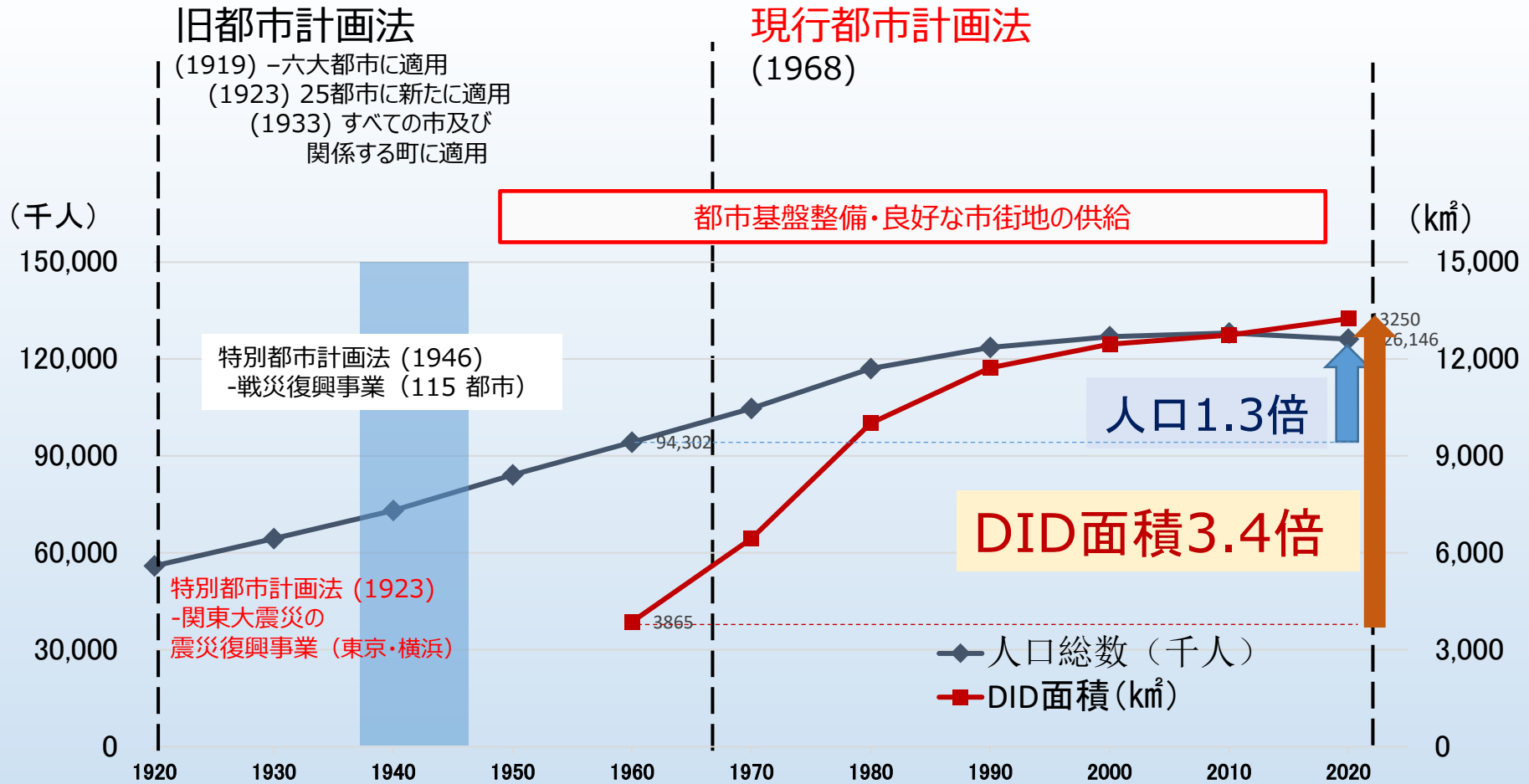
持続可能な都市のあり方

早稲田大学 創造理工学部

森本 章倫



1. 人口の推移と市街地の変動(1920-2020)



(出典) 人口：総務省統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口（中位推計値）、
 DID面積：総務省統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在面積

引用) 国土交通省都市局HP: 都市計画制度の概要



2. 次世代交通の変化

19世紀

20世紀

21世紀

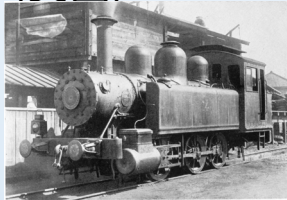
徒歩→鉄道→自動車

→人中心の交通システム

【交通技術の発展】

【AI・ICT技術の発展】

1825 蒸気機関車の営業運転 (英国)



1920年代 自動車の大衆化 (米国)



1970年代 LRT,BRTの普及



2010年代 交通のシェアリング



2020年代 自動運転の普及



この半世紀で多様な次世代交通が誕生

→ 次世代の交通とは、「**人中心**の交通システム」

人が交通をニーズに合わせて自由に選択する時代

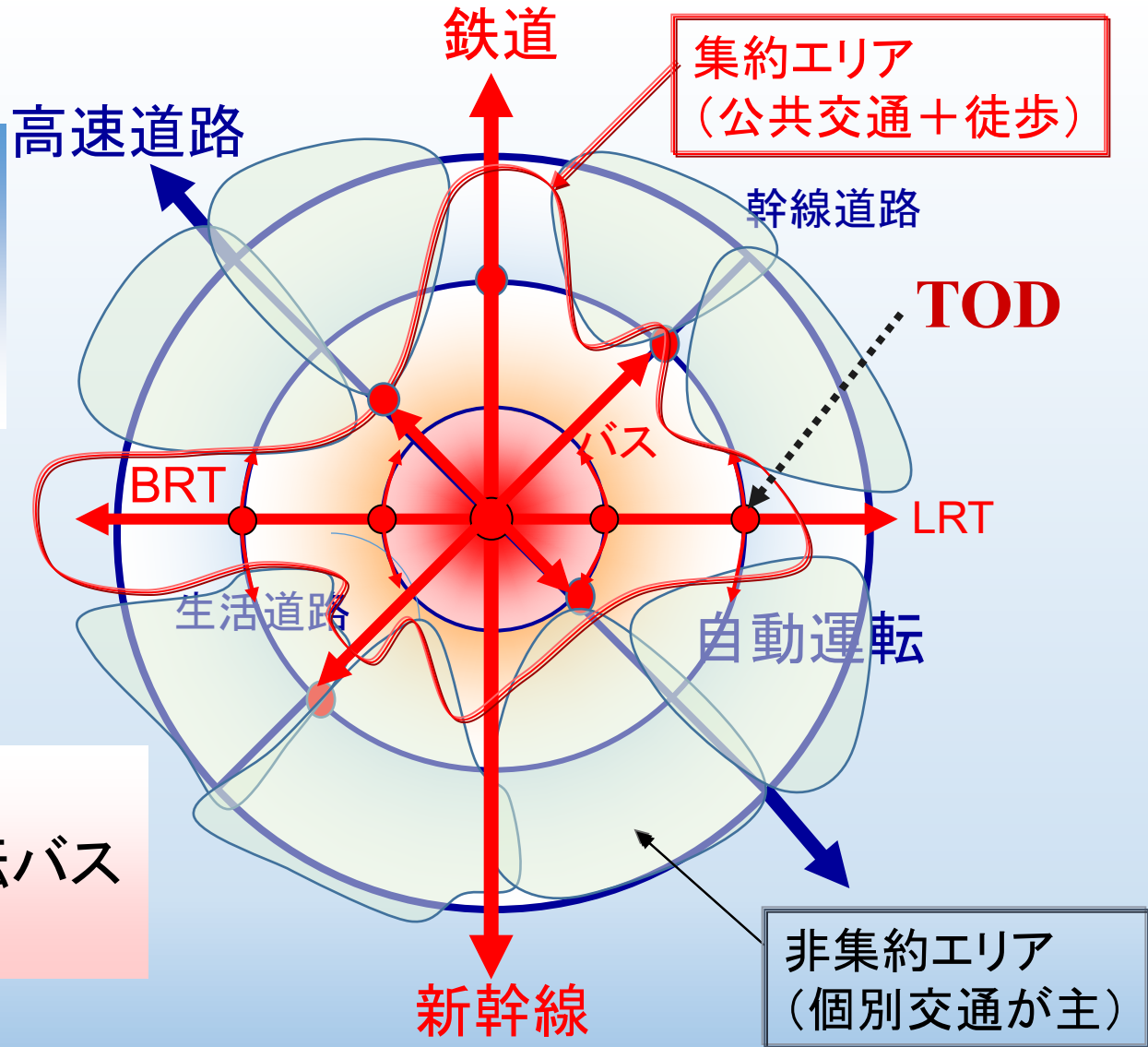


3. コンパクトシティにおける2つの交通戦略

非集約エリア
 自転車
 パーソナル・ビークル
 自動運転車



集約エリア
 LRT、BRT、自動運転バス
 + 徒歩





4. 事例：次世代交通LRTと交通まちづくり



LRT開業 2023.8

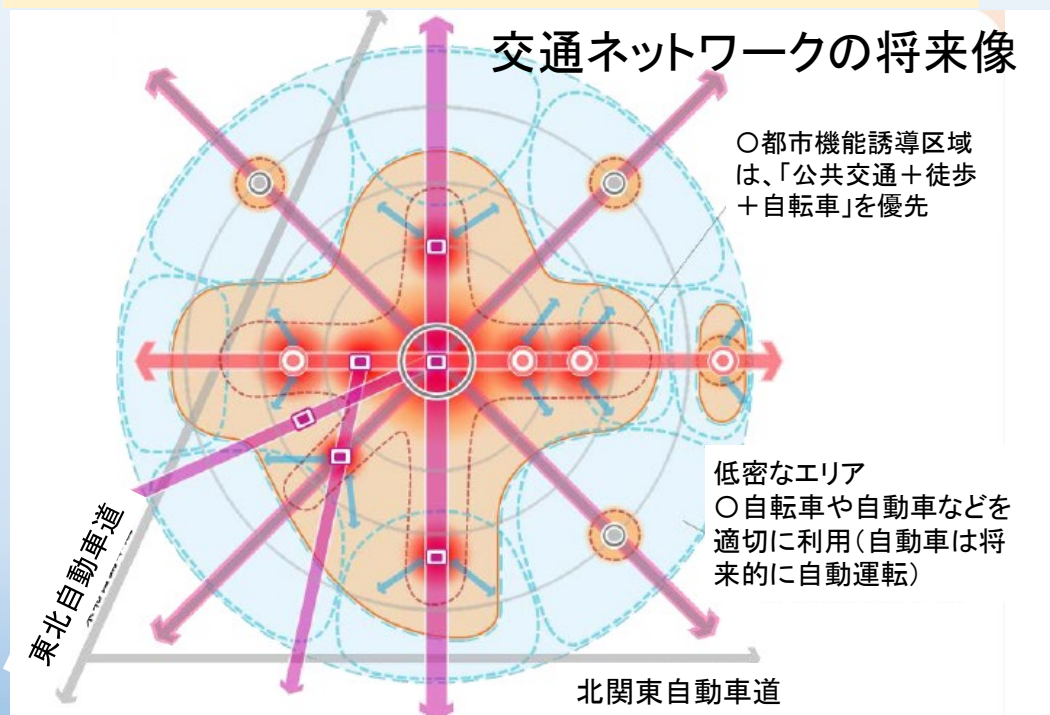
ライトライン: 2023年8月運行開始

- 運賃: 150円~400円
- 運行時間帯: 6時台~23時台
- 運行間隔: ピーク時6分、オフピーク時10分
- 総距離14.6km (電停19か所)



宇都宮駅東口再開発 2022.11

第2次宇都宮市都市交通戦略(2019-2028)





5. 3DVRを用いた合意形成手法

Waseda University

1

次世代公共交通を軸にしたまち

- ・ 定時性の確保
- ・ 接続性の向上
- ・ バリアフリー



2

沿線まちづくり

- ・ 駅まち空間の整備
- ・ 街なかの地域資源の活用
- ・ ゆとりある歩行空間整備



3

都心アクセスの改善

- ・ モビリティハブの整備
- ・ 交流と賑わい創出
- ・ 自動車流入の抑制



更なる検討事項の抽出

PDCAサイクルの実施

